

令和4年度 天童市学習支援室リバテラスちえふる

通信「ちえふる」1月号



将棋界のレジェンドの言葉に学ぶ

将棋界では、王将戦が行われており、羽生善治九段がタイトル通算100期をかけ、藤井聡太五冠に挑んでいます。羽生九段は、かつて全てのタイトル戦を同時制覇し、史上初の七冠王となるなど数々の偉業を成し遂げました。2018年には、国民栄誉賞を受賞しました。

先日の新聞に、羽生九段の今年の目標として「自分の棋力を上げるため、向上心と好奇心を持ち続けたい。その気持ちを大切に新しい1年を過ごしたい。」という言葉が載っていました。50歳を過ぎてもなお、「向上心」を持ち続けたいという彼の言葉に、心が引き寄せられました。同時に、自分の能力を高めるために前向きな気持ちで挑戦し、「向上心」をもって生活していこうとする彼の生き方に学びたいと思ったところです。

また、向上心をもつことは、充実した生き方にも通じていくことを考えれば、老若男女を問わず、その心をもち高めていくことの必要性を感じました。しかし、向上心をもつには、自分の心を自分でコントロールする強い意志が必要であり、そう簡単なことではありません。人は誘惑に弱く、目標を立てて行動するなど面倒なことが嫌いで、できれば楽をして過ごしたいと思い、つい安きに流された生活を送ってしまいがちです。

それでは、どのようにすれば、向上心をもつことができるのでしょうか。

人は環境に影響されやすいと言われます。したがって、自分をよく変えたいと思うならば、目標達成のために、環境を変えてみることをお勧めします。例えば、家にいると勉強に集中で



きず、だらだらした生活を送ってしまいがちな人は、当室を利用している皆さんのように、学習環境の整ったところに身を置き学習することです。そして、継続してがんばることが大切です。今の自分を変えるために具体的に行動を起こし、環境を変えることで、向上心をもつことができるようになるのではないのでしょうか。

また、「努力する人は希望を語り、怠ける人は不満を語る」、「努力する楽しみを知る人は、人生の真の幸せを知る人である」という言葉もあるように、今の自分を変えるために、努力し続けることで向上心の芽は育まれていくようにも思います。

将棋界のレジェンド羽生九段の言葉から、そのようなことを思いました。

本の寄贈について

天童市内にお住まいの大木 彬 様のご厚意により、以下の本、38冊を寄贈いただきました。どうぞご活用ください。

※人物探訪日本の歴史 1巻～20巻
※日本の伝説 1巻～18巻



本の寄託について

河北町にお住まいの高橋宏一 様のご厚意により、以下の本、13冊を寄託いただきました。どうぞご覧ください。

- 1 一流の人が言わない50のこと
- 2 自己肯定感が高まる脳の使い方
- 3 学校で教わらなかった20代の辞書
- 4 稼げる30代になるために絶対に染まってはいけない70の習慣
- 5 暮しのなかの工夫と発見ノート②あたらしいあたりまえ
- 6 たった2分で、自分を磨く
- 7 直感で生きる
- 8 つみたて投資の教科書
- 9 今、できること
- 10 マジック・ストーリー
- 11 周富徳の完全本
- 12 お金は使えば使うほど増える
- 13 手工芸入門 木彫



学習支援室の情報については、QRコードからもアクセスしますので、ご覧ください。

